

町の話題



元気いっぱいの大森創作太鼓旭ヶ浦は、未就学児から中学生までの子どもたち



中学生による長清水鳥囃子は、表現力豊か

日ごろの練習の成果を披露

子どもたちの郷土芸能発表会



衣装と太鼓は重いけど、華麗に舞う鹿子躍



踊りを終えて 行山流水戸辺鹿子躍演じた中学生の皆さん



小学生による入谷打囃子は、祇園囃子を思わせ優雅



八幡町地区の小中学生による八幡町打囃子

12月11日(日)、町総合体育館「バイサイドアリーナ」文化交流ホールを会場に、「子どもたちの郷土芸能発表会」が開催されました。

この発表会は、「日ごろから子どもたちが練習する郷土芸能などは、一般に披露する機会が少ないので、発表の場を与えよう」と、指導者などで作る実行委員会が主催で、平成16年1月から行われ、今回が3回目の開催です。

出演は、入谷打囃子、長清水鳥囃子、八幡町打囃子、行山流水戸辺鹿子躍の4つの伝承郷土芸能と、平成5年に結成された大森創作太鼓旭ヶ浦の創作郷土芸能の合計5団体です。

いずれも本来は大人が演じるものですが、後継者育成などのために、日ごろから地域で練習を続けているものです。

会場に集まった皆さんは、子どもたちの演技を熱心に鑑賞し、大きな拍手を送りました。